

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2023年
8月号
NO. 299

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい——



今月の特集

第25回通常総代会

荒井さんの圃場に咲くリアトリス
Photo by SOGA Takahiro



農業と花を愛でる。 野菜と花に囲まれた暮らし。

南地区組合員 あらいみわ 荒井三和さん

「私の一日は早いんだよ」そう元気いっぱい話してくれた人こそ、今回主役の荒井三和さん。いつもやさしい笑顔が印象的で、みんなから「三和さん」の愛称で呼ばれる人気者。

今も昔も

元気の源は「農業」

荒井さんは、南区簾舞で花や野菜を中心に生産しているが、驚くのはその品目の多さ。キャベツ、大根などの野菜からハスカップ、グズベリーなどの果実、更には最近人気のルバーブやワラビといった山菜も育てるなど品目はざっと30を超える。

「おかげさまで、旦那、息子、娘やたまに孫も来て手伝ってくれてね。だからこうやって続けることができるんだよ。」そう嬉しそうに話す荒井さんからは思わず笑みがこぼれる。

荒井さん自身は平岸で生まれ、結婚を機に今の白川浄水場がある辺りで酪農を中心に営農していたが、1971年に今の住まいである簾舞に移った。当時は養豚と養鶏を営み、さまざまな農業団体や公的機関から表彰を受けるほどの良質な畜肉を生産していた。

そんな荒井さんの一日は忙しい。太陽が昇る前の朝3時には起床、4時には畑に出てその日出荷する野菜や花を収穫。そのほとんどを、JAさつぽろ生産者直売所「とれたてつこ南」に出荷している。多くの農産物を作るのは当然ながら並大抵のことではないが、当の本人は苦にならないと話す。「休む暇はないけど、農作業をしていたらお天道様にもあたって元気になるんだよ。60年以上も農業のある生活をしているから、さあ、明日も一日お天道様のもと働かなきゃって思うよ。」

荒井さんにとって農業は、まさに心と体の「よりどころ」といえる。

女性部南支部伝統の

「梅漬け」

部員数319名を擁し、JAさつぽろの協力組織として大きな役割を果たしている女性部。最近では本部活動として取り組



1. とれたてつこ南への出荷準備を行う息子の和哉さん。2. 色とりどりで華やかな花を摘む荒井さんの笑顔が印象的。3. “もったいない”の気持ちから作り始めた、手作りの切り干し大根。4. 荒井さんの庭先にある大きな梅の木。昔は荒井さんの梅も梅漬けに。5. 慣れた手つきで一つ一つ丁寧に束ねられる季節の花。

む、南区「みなみの杜高等支援

学校」での「漬物講座」講師と

して授業を展開。生徒たちへの

伝統食継承に繋がっている。そ

してこの講座開催のきっかけに

なったのが、南支部伝統の「梅

漬け」だ。最盛期は800kgも

の生産を誇ったが、現在では

200kg程となっている。

「当時部員さんの庭先に植え

てあった木から採れる梅があっ

たのがきっかけだね。今みたい

に何でもすぐ手に入る時代じゃ

なかったからね。作るのは大変

だけだ女性部のみんなと一緒に

何かできるのが嬉しい。」そう

楽しそうに話してくれた。

三和さんの

切り干し大根

荒井さんを語るうえで欠かせ

ないのが、手作りの「切り干し

大根」。炒め物にしてもポリッ

ポリッとすると肉厚の食感、大根

特有の風味と甘みを感じられ

る。「とれたてつこ南」や女性

部内でも人気の一品だ。

荒井さんが切り干し大根を作

り始めて10年ほどになるが、今

では「とれたてつこ南」に年間

200袋程を出荷。使用する大

根は200本程におよぶ。通常

販売している切り干し大根より

太めのせん切りにして、ペチカ

で乾燥させて作るのが荒井さん

流。この時期は、晴天の日に天

日干しすることも欠かせない。

「作り始めたきっかけは、販売

できない規格外の太い大根が

もつたいないなあって気持ちち

から。太い大根だから運ぶのも大

変だし、全部手で切るから力も

いるよ。でも、スライサーで切

るより、手で厚めに切る方が美

味しいんだよ。切り干し大根は

保存もできるし栄養価も高いか

ら、たくさんの人が作ってくれ

たらいいね。」荒井さんの力強

い言葉は、「贅沢とは何か」を

改めて感じさせてくれる。

「今の夢は元気で働き続けるこ

と。大きな病気もせずにいられ

るのも大好きな畑仕事と女性部

のおかげだね。これからもみん

なで一緒に女性部を盛り上げて

いきたいな。」最後の最後まで

おだやかな表情で夢を語ってく

れる荒井さんの姿は、農業と女

性部を愛する幸福感に包まれて

いた。

第25回通常総代会

J Aさっぽろ第25回通常総代会が6月30日（金）午後2時より共済ホールにて開催されました。総代出席者は、本人出席217名、書面議決367名、委任出席1名の合計585名。開会宣言後、左記の次第に沿って進められました。

次第

- 1、開会
- 2、代表理事組合長挨拶
- 3、来賓祝辞
- 4、議長選出
- 5、書記の指名
- 6、議案審議
- 7、閉会

代表理事組合長挨拶抜粋

昨年の地域農業は、記録的な積雪も例年並みに融雪し、播種・定植は順調に推移しましたが、干ばつの影響により、活着の遅れや苗の傷みなど影響を受けております。

その後は、高温傾向となり回復し

ましたが、連続的な降雨により一部作物に出荷量の減少や品質の低下が見受けられる状況となりました。

品目別には、玉ねぎは全道的に豊作となりましたが、市場取引、販売価格については不安定な部分があったものの、比較的順調に推移しました。

改めて、生産者の皆さまがこのような厳しい状況の中、不断の努力をされていることに対して感謝と敬意を表するところでございます。

農業・農協をめぐる情勢では、国際紛争や円安の進行による肥料・飼料をはじめとした生産資材の価格がかつてないほど高騰し、コロナ禍から回復途上にある日本農業の今後の営農継続に向けた大きな不安材料となっております。それらの影響は農



ご出席いただいた方々に挨拶を述べる
軽部組合長

業者の自助努力の範囲を超えるものであり、政府等から様々な支援策が打ち出されておりますが、今後、J Aグループが一丸となった、さらなる取り組みが必要と考えております。

このような諸情勢の中、令和4年度事業につきましては組合員皆さまのご支援に支えられ事業計画を大きく上回る成果を取めることができました。

決算結果について要点をいくつか申し上げますと、事業総利益では、37億1,300万円と前年対比100.5%と前年を若干上回りました。金額ベースで申し上げますと約2,100万円の増益となりました。

一方、人件費をはじめとした事業管理費では、コロナ禍からの活動回復傾向もあり、前年対比101・

8%と約5,700万円上回りましたが、事業利益では5億3,000万円となり、昨年に引き続き計画を上回る利益を確保することができました。

このことは、組合員皆さまの農協事業に対する深いご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。これらの結果を踏まえて、剰余金の処分案につきましては、当期末処分剰余金9億8,500万円とし、法定積立金の他、農業振興強化積立金などの任意積立金を合計して4億1,200万円といたしました。

なお、出資配当金は1%とし、また、肥料価格高騰の影響を受けた組合員の皆さまを支援する対策も含めた、事業利用分量配当金を2,500万円として本総代会にご提案申し上げます。



議長を務めていただいた平岸地区の
北村晃一さん



昨今の農協経営を取り巻く環境は、低金利政策の継続による資金運用の収益性低下や共済付加収入の減少など極めて厳しい情勢に直面しており、金融市場の動向を見越した財務基盤の強化と経営収支の安定確保は避けて通れない喫緊の課題となっております。

今年度は、第5次中期3カ年経営計画の実践2年目となり、地域農業の振興、地域社会への貢献、経営基盤の強化とともに、重点テーマとして掲げる「農業の持つ価値の発信」を着実に推し進めてまいります。

今後の事業運営につきましても、足元の国際情勢や経済動向などの変化をしっかりと見極め、コロナ禍のような想定外の大きな環境変化にも柔軟に対応していけるよう備える必要があります。

J A いしかりとの合併については、本年2月の臨時総代会において合併の承認を賜りました。合併の実現により、経営資源を相互補完することで、より信頼されるJ A として再構築を図り、今後も多様化する価値観やニーズに応え、組合員、地域住民の皆さまに必要とされる存在を目指してまいります。

なお一層のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

結びになりますが、この一年が生産者皆さまのご努力が報われ、素晴らしい出来秋が迎えられることと、ご参会の皆さまのご健勝・ご活躍を心よりご祈念申し上げ、開会に際しましての挨拶とさせていただきます。

議案

議案第1号

令和4年度事業報告、剰余金処分案の承認について

議案第2号

令和5年度事業計画の設定について

議案第3号

『食の安全安心積立金』（定款第68条に定める目的積立金）の設置について

議案第4号

『定款』の一部変更について

議案第5号

『定款附属書の2』総代選挙規程』の一部変更について

議案第6号

役員報酬の支給について

議案第7号

退任役員に対する退職慰労金の支給について

議案第8号

役員を選任について

議案第9号

合併契約書に基づく役員を選任について

附帯決議一件

皆さまにご協力・ご理解をいただき、全て原案通り可決決定され、午後4時6分に閉会いたしました。



令和5年度 第1回地区別懇談会 Q&A

6月12日(月)から14日(水)にかけて、全12地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および参事・各室部長が2班に分かれて出席し、令和4年度の決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

経営企画部門

Q 令和5年度は、組合員親睦大新年会を開催する計画はありますか。

(琴似地区)

A 新型コロナウイルス感染症がまだ終息していない状況ですので、今年度も開催は見送りとさせていただきます。

Q 経済部門以外の合理化は考えていますか。

(手稲地区)

A 合併後についていえば、総務管理部門は2カ所を1カ所に集約いたします。

Q 「農業の持つ価値」の「多面的な情報発信」とは、どのようなことをするのですか。

(新琴似地区)

A 広報誌やコミュニティ誌、地域住民を対象にしたイベントの開催等を通して、農業への理解を促進していきたいと考えております。

Q 「組合として対処し解決すべき重要な課題およびそれへの対応方針」はどのような位置づけですか。

(新琴似地区)

A JAとして取り組む優先課題を取り上げて記載したものです。

Q 店舗統合により「一般支店」がなくなりりましたが、いつまで「統括支店」という名称を使用するのですか。

(新琴似地区)

A JAいしかりと合併すると、八幡にある本店と花畔支店のどちらかが「統括支店」となります。そのため当

分の間「統括支店」という名称は残しておくこととなります。

Q 剰余金処分案において、出資配当は以前1・2%でしたが、1・0%に引き下げた理由を教えてください。

(琴似地区)

A 出資配当については、令和2年度剰余金処分案では1・2%でしたが、令和3年度から1・0%にしております。出資配当に加えて可能な限り事業利用いただいた組合員に分量配当をしていきたいという考えと、昨今の低金利である情勢を勘案し今年度も1・0%としております。

Q 剰余金処分案で「教育情報繰越金」とありますが、どういったものなのでしょうか。また当期剰余金の5%繰越というのは法令で定められているの



南地区

か、組合員には影響があるのかなど教えて欲しい。

(白石地区)

A 営農指導、生活・文化改善の事業



中央地区

に充てる目的のため、当期剰余金の5%以上を教育情報繰越金として翌事業年度に繰越さなければならぬと定められております。

尚、組合員の皆さまへ特段の影響はありません。

Q 「財務・事業成績の推移」について、5年から10年の実績をグラフ等で分かりやすく表示する事を望みます。

(西町地区)

A 規則の定めがあり当該事業年度および直前3事業年度の事業成績並びに財産および損益の状況を記載することとなっております。今後は地区別懇談会用に要望に沿った資料を提供できるように検討いたします。

総務部門

Q 『食の安全安心積立金』について、積立目標額(1億円)までどのよう積み立てていくのですか。

(平岸地区)

A 今後の積立については、毎年の決算状況を踏まえて積み立てていきたいと考えております。

Q 役員報酬を決定するまでの経緯、及び支給方法等について説明して欲しい。

(南地区)

A 役員報酬は、総代会において承認いただく訳ですが、総代会に上程する議案については、各地区の運営協力委員から選出された役員報酬審議委員の皆さまに審議いただき決定しております。審議会では報酬総額が審議され理事会に報告され、総代会に提案されます。その後、理事会、監事会で各役員

の個別報酬額が決定することとなります。また支給方法は毎月各役員へ振込みという形で支給しております。

Q パートタイマーや期間職員は何人くらいいるのですか。また、派遣職員は何人いるのですか。

(琴似地区)

A 経済部門に季節的な期間職員として秋の繁忙期に例年5人程度雇用しますが、年間を通じると3人程度の雇用となります。また派遣職員は5月末で4人おります。想定外の退職者もあり、一時的に不足する人員を派遣職員で対応している状況です。

Q 職員不足は組合員へのサービス低下にも繋がります。想定外の退職者が発生することについては、労働環境が要因なのかどうか組織としてどのように考えていますか。

(琴似地区)

A 職員が不足するとその分の業務量も増えてしまい、労働環境の悪化へつながる事も考えられます。令和5年度に入り給与のベースアップ等を実施し、また再雇用職員の待遇改善にも取り組んでおります。引き続き、有給休暇の消化率向上なども含めて労働環境

の改善に取り組んでまいります。

Q 新採用職員の初任給は上がったのですか。

(琴似地区)

A 令和5年度に、新採用職員に対する初任給を上げております。

Q 昨年常勤理事と職員による正組合員訪問時にアンケート調査を実施していましたが、今年も実施するのですか。

(琴似地区)

A 令和5年度についても、訪問時のアンケート調査を引き続き実施してまいります。

Q 北海道信連に外部出資をしていますが、配当率は何%ですか。

(手稲地区)

A 北海道信連へ出資している約半分は普通出資で、配当率が1・0%、残り半分は後配出資であり配当率は0・5%となっております。ただし、今後の配当率が約束されているものではありません。

Q 若い職員の離職率が高くなっているようですが、退職理由等の分析をしていますか。
(手稲地区)

A 退職する際に退職理由は把握しておりません。理由は様々であり、若い方は賃金面というよりも本人がやりたいことを見つけて転職する傾向が多くなってきました。

Q 子会社の令和5年度計画で、不動産仲介手数料が前年対比でかなり低くなっていますが、その根拠を説明して欲しい。
(手稲地区)

A 2名体制で不動産部門を行なっておりましたが、今年から1名体制となったことから、このような目標といたしました。

Q 「職員の状況」において、正職員の当期減少24名となっていますが、の中には定年退職者も含まれているのですか。
(新琴似地区)

A 定年退職となった職員9名が含まれております。

Q 理事の定数を減らすことはできないのですか。
(新琴似地区)

A 平成29年度及び令和2年度の改選期に定数を削減しております。現時点では、定数削減の考えはございません。

Q 役員のおすすめはどのように取り進めているのですか。
(篠路地区)

A 地区運営協力委員から選任された役員推薦委員による協議で推薦されております。

Q 篠路駅東口の倉庫群の解体について、当該建物は歴史もあり保存を求める声もあることから、移築等で保存することは考えていないのですか。
(篠路地区)

A 篠路駅東口倉庫群は、札幌市の土地区画整理事業、更には篠路駅周辺まちづくり計画があります。

その計画の中で当JAの土地が大きく占めていることから倉庫群を解体する計画としております。また、保存のために移築するにしても、現在の法律にそぐわない部分があり大きな費用がかかることから、費用対効果を考慮し解



豊平地区

体せざるを得ないという判断に至っております。

Q 旧篠路中央支店の遊休資産は、今後どのように活用する予定ですか。
(篠路地区)

A 現在、短期間で賃貸することはありますが、当JA自らが使用する計画はありません。篠路駅周辺まちづくり

計画を視野に入れると売却する可能性はありますが、現在のところ引き合いが無い状況であります。

Q 職員の定年を65歳に延長するなどの対策を考えていますか。また定年になった職員のキャリア等を考慮して、役職に値する肩書を付して相談部門に配置して欲しい。
(西町地区)

A 当JAは現在60歳定年、65歳まで再雇用の制度となっております。定年の年齢や配置等については、今後検討していかなければならないと考えております。

金融部門

Q インターネットバンキングは不正アクセスなどの危険もあり、あまり進めて欲しくないと思います。またデジタル化により、通帳の発行が無くなるのではないかと心配しています。
(琴似地区)

A JAバンクのインターネットバンキングは、セキュリティ対策として高度な暗号化技術を採用し、お客様に安心してご利用いただくための機能を備えています。また、インターネットバ



西町地区

ンキングや通帳レス口座については、利便性が高いことから希望される方に提供させていただいております。これまで通り対面での取引や通帳発行ももちろん対応させていただきますのでご安心ください。

Q 直売所に隣接する金融店舗において、菜園やプランター等で野菜を栽培することで、一般のお客様に目が留まる

り、それが直売所の集客にも繋がると思いますので、是非検討いただければと思います。
(手稲地区)

A 特徴的な農協らしい店舗の取り組みは、各支店で創意工夫して取り進めております。今後の参考意見とさせていただきます。

Q 事業報告にある「非対面チャネル」の「チャネル」とはどういう意味ですか。
(新琴似地区)

A 集客するための媒体、手段といったことを意味します。

共済部門

Q 共済事業において、令和4年度実績と比べて令和5年度計画の数値が低くなっているのはどのような要因ですか。
(琴似地区)

A 人口減少や高齢化などにより、これまで大きな死亡保障で加入されていた方が満期等を迎えた際に、同じような大きな保障に継続して加入していただくことが非常に難しくなってきたりといった理由から計画数値が前年より低くなっております。

Q 方策の中で「人と人とのつながりを基軸とした」といった表現があれば、一方では「デジタル取引の普及拡大」といった表現もあります。少し矛盾するのではないですか。
(新琴似地区)

A 協同組合として、人と人とのつながりを大切にし、対面での取引を基本としながら、一方でデジタル化により利便性向上を図っていくことも必要であると考えております。

相談部門

Q 令和5年度事業において、売買仲介業務取扱高の計画が前年度実績より半減しているのは何故ですか。
(白石地区)

A 令和4年度はハウスメーカーの用地取得が活発にあり、併せて土地価格の高騰もあつたことから、想定以上の実績となりました。

経済部門

Q 最近では、スマートフォンアプリで農業者支援に関する需要が人気を集めていると思いますが、JAさっぽろではそのようなことで組合員を支援

していかないのですか。
(南地区)

A アルバイト求人などのアプリは現在のところ当JAにはありません。今後の検討材料とさせていただきます。

Q 営農に係る相談窓口は、11月まで経済部に常駐している職員ということでしょうか。
(南地区)

A 常駐している営農渉外担当職員、及び丘珠の経済部にて対応をさせていただきます。

Q 農業所得の向上につながる方策として有利販売につながる取り組みを行ったと報告がありましたが、具体的な内容について説明して欲しい。
(南地区)

A 既存取引先であるホクレン商事、マックスバリュ、学校給食等に対し、資材高騰の中、値段交渉や販売スペース確保の交渉を実施しております。

Q 経済部の合理化が実施されて6カ月経過しましたが、計画通り進んでいるのか、または課題があり合理化が停

滞しているのか進捗状況を説明して欲しい。
(手稲地区)

A 計画通り遂行しております。営農渉外課に関しては、当初は丘珠の事務所より出向く形で計画しておりましたが、農繁期は担当者を各経済店に常駐させ、渉外活動できるように変更しました。

Q 手稲経済店は倉庫も完備されており、搬入・搬出等の観点からも敷地面積が広いことで、直売所の営業戦略として有効活用をどのように考えていますか。
(手稲地区)

A 具体的な計画は立てておりませんが、今年度は苗物販売も実施しております。敷地面積を考慮し、イベント等様々な方法で活用していきたいと考えております。

Q DCMでJAの資材を取り扱っていることについて、もっと組合員に周知して欲しい。また販売価格はどうなっているのですか。今後、DCMとの連携を拡大していくのであれば、その方向性について教えて欲しい。
(新琴似地区)

A 令和4年3月にDCM川沿店での取り扱いを開始し、その後、DCMとの協議を経て令和5年3月17日からDCM発寒追分通店、北野通店、篠路店において、肥料等の資材取り扱いを開始しました。また販売価格については、一般の方も含め全て組合員価格での販売となっております。今後店舗を増やす計画は現時点では無く、現在の市内4店舗での取り扱いを展開していく考えであります。

Q 有害鳥獣による被害について教えて欲しい。
(新琴似地区)

A 鹿やアライグマの被害が多く発生しております。現在、行政を中心とした関係機関と連携した対策に取り組んでおります。

Q 次世代農業を育てていく方策を取り入れて欲しい。
(白石地区)

A 営農渉外担当者がおりますので、担い手対策として力を発揮していきたいと思っております。

Q 肥料・飼料価格の高騰で酪農家の

経営が大変な状況であるため、とうもろこし飼料を日本で生産できるような仕組みをJAが考えられないものでしょうか。
(白石地区)

A 日本において飼料の90%を輸入に頼っている状況です。飼料原料の国内生産ということで政府も動いてはいますが、飼料の生産には大規模な面積が必要であることから、なかなか機能していない現状であります。当JAとしても遊休農地の改善、休耕地の有効活用を進めていきたいと考えております。

その他

Q JAカードについて、現在は共済掛金の支払いが出来ても経済関係の支払いが出来ないので、用途を拡大して欲しい。また今後JAいしかりとの合併を踏まえて、JAいしかりの購買店舗では使用できて、JAさつぼろの購買店舗では使用できないといったことが無いように取り進めて欲しい。
(北札幌地区)

A JAさつぼろでも共済掛金の支払いができるようになりました。今後は購買取引や直売所において、JAいしかりの状況を把握しながら、取り扱い

が異なるようなことにはならないように費用面も含め、慎重に検討してまいります。

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。

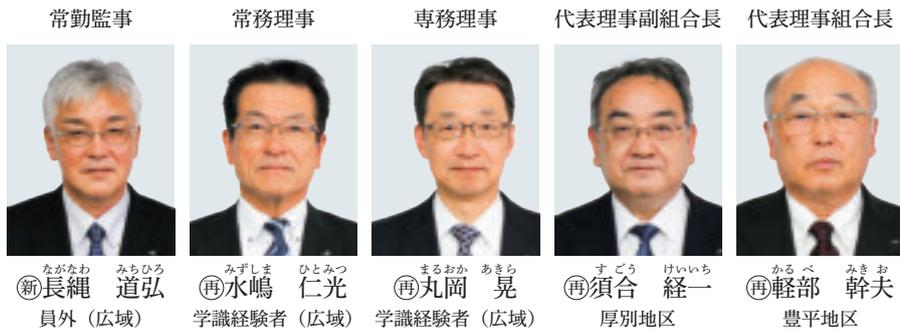


琴似地区

JAさっぽろ新役員紹介

この度の役員改選に伴い、令和5年7月1日から令和8年6月末までの3年間、役員を務めます理事・監事をご紹介します。

常勤役員



理事



監事



※①は新任の役員、②は再任の役員です。



理事
中西 偉

この度、白石地区の役員推薦委員の方々よりご推挙いただき、理事に就任させていただきました中西偉でございます。

理事という大役を仰せつかり恐縮するとともに責任の重さを痛感しております。食料や農業を取り巻く環境としては、生産基盤を維持するため農業大学などの研修や農業法人での就職などの多くの支援が必要ではないかと思えます。農業の担い手不足と高齢化の問題は、長い間指摘されていますが自営農業を仕事にしている農業従事者の減少は止まりません。原因としては高齢化で離農する農家がある一方で新規就農者が増えないことが挙げられると思います。また水田活用における畑地化も行なわれていますが、一般作物にする畑地化支援以前に水田から畑に移行する土づくりの土地改良支援が必要ではないかと思えます（客土・

案渠等）。この様な厳しい状況ではありますが、協同組合とは人と人との結びつきやお互いの顔の見え代に合わせて組合員組織を活性化できるよう、私なりに精一杯努力したいと思えます。どうかお力添えをお願いいたします。



監事
因幡 克己

この度、新琴似地区の役員推薦委員の方々のご推挙により、監事に就任させていただきました。

日銀の総裁が植田総裁に代わり、内外からその動向が注視されてきました。大規模金融緩和策は維持されることが決定しました。円安による物価高は家庭を直撃し、昨年の肥料等の大幅な高騰は農業経営に大きな打撃となっています。

大規模金融緩和が導入されてからも、札幌市農協は健全な経営を継続してきたことは、役員はもと

より職員各位の奮闘努力によるものが大であると敬意を表します。未経験の分野ですが、関係各位のご指導とご協力を頂戴し、大役を務めてまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



監事
佐々木 雅史

この度の役員改選により、琴似地区役員推薦委員の方々よりご推挙いただき監事に就任することとなりました。佐々木雅史と申します。

浅学寡聞の身ではありますが、JAさつぼろの経営理念、経営ビジョン、重点テーマを念頭に監事としての職務にあたり「信頼されるJA」に微力ながら貢献できればと思っております。

新任故、組合員の皆さま、先輩役員の方々の皆さまからのご指導、また職員の方々の皆さまからのご協力をいただきながら、職責を果たしてまいりたいと思っております。何卒よ

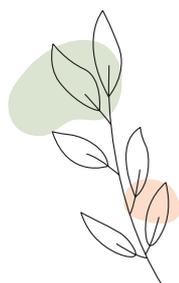
ろしくお願ひ申し上げます。



常勤監事
長縄 道弘

本年4月にJA北海道中央会を定年退職・再雇用となり、この度のJAさつぼろ総代会において員外監事に選任され、7月より常勤員外監事を務めさせていただくこととなりました。

重責ではありますが、JAさつぼろの「経営理念」「経営ビジョン」「重点テーマ」の実現・実践に少しでもお役に立てるよう、微力ながら、精一杯務めさせていただきますので、皆さまのご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。





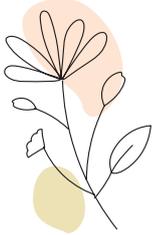
前理事
(白石地区)
宮口 博幸

理事退任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

平成17年から6期18年間理事を務めさせていただきました。この間、多くの組合員の皆さまをはじめ、役職員の皆さま方には、公私にわたり温かいご支援とご指導をいただき心より感謝申し上げます。大変貴重な体験をさせていただきました。

今後は一組合員として見守っていききたいと思います。

最後に、JAさっぽろの益々の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



前代表監事
(新琴似地区)
宮本 二三男

退任にあたり一言御礼を申し上げます。平成20年7月より監事として、5期15年務めさせていただき、平成28年10月より代表監事に就任。その間、皆さま方には温かいご支援とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、リーマンショックによる世界的金融不安、国内では東日本大震災がありました。わがJAさっぽろは、組合員の高齢化と農地の減少が加速し、今なお、厳しい経営環境が続いております。

皆さま方におかれましては、この難局を乗り越え、JAの活動として一番大事な農業振興を推し進め、札幌の農業を守り続けてほしいと切に願います。今後は一組合員として見守っていく所です。最後に組合員の皆さま、役職員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

させていただきます。



前監事
(琴似地区)
高山 正三

この度の役員改選にあたり、2期6年務めた監事を退任させていただきますました。

組合員、役職員の皆さまには大変お世話になり誠にありがとうございました。

在任中の主な出来事として3年余りにわたる新型コロナウイルス感染症蔓延があり、また、当JAにおいては、支店統廃合、経済部合理化移転、今年度には、10月1日のJAいしかりとの合併により、新たなJAさっぽろが誕生することが挙げられます。

この先も厳しい組織運営には変わりはないと思いますが組合員の皆さまと地域に密着した組織として「信頼されるJA」の発信と各事業部門では風通しのよい働きがいのある「魅力あるJA」を目指し、益々発展されることを切に望

んでおります。

今後は一組合員として農協事業を見守っていききたいと思います。終わりに組合員並びに役職員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

「JAさっぽろ」で働いて良かったと思える職場になることを祈念して退任の挨拶いたします。



前常勤監事
(員外・広域)
森 寿幸

2期6年間お世話になりました。支店統廃合等の合理化など多くの課題がありましたが、結果としては各年度とも良好な決算であったことに敬意を表します。都市化JAではありますが、JAいしかりとの合併を契機に農業振興を図られることを期待しております。組合員のためにも、働く職員がJAを去る時に「JAさっぽろ」で働いて良かったと思える職場になることを祈念して退任の挨拶いたします。



「とっておきレシピ」で 札幌野菜をもっと美味しく!

このコーナーでは、キューピー(株)にご協力いただき、札幌野菜の美味しい食べ方をご紹介します。キューピー「とっておきレシピ」の中から厳選したレシピで札幌野菜を調理する様子をお伝えします。

今回は、軽部組合長と須合副組合長が札幌ブランド野菜「大浜みやこ」(かぼちゃ)を使った二品を調理。かぼちゃは、果実部会 名島敏美さん(手稲地区)から提供していただきました。

また、今回の調理には、古川ポークのフランクフルトソーセージ(古川農場)・小林牧場物語さわやか牛乳(小林牧場)も使用しています。

軽部組合長は
「かぼちゃとソーセージの
マヨグラタン」を担当



電子レンジで加熱したかぼちゃを約2cmの角切りにカット



マヨネーズと牛乳のソースをたっぷりかけます。



焦げ目がつくぐらいまで加熱! この日は170°Cで約4分程加熱しました。

須合副組合長は
「レーズンのヨーグルト
かぼちゃサラダ」を担当



かぼちゃを半分にカットするのは一苦労



カットしたかぼちゃを乾いたキッチンペーパーで包みラップするのがポイント!



お好みの大きさまでつぶしたかぼちゃをヨーグルトとマヨネーズで味付け。

オーブンを使って焼くことで大浜みやこ特有の甘さと栗のようなほくほく感が引き立ち、素材の味を感じる一品です。かぼちゃの甘さとマヨネーズのコク、ソーセージの塩味の相性がバッチリでとても美味しかったです。札幌を代表するブランドかぼちゃの大浜みやこを多くの方に召し上がっていただけると嬉しいです。

普段調理をしない私も手軽に完成することができました。サラダとしてだけでなくクラッカーなどにのせるとお菓子感覚で食べることができます。かぼちゃはβ-カロテンやビタミンCが豊富に含まれているので小さなお子様のおやつにもおすすめです。



今回、調理を担当したのは...

軽部幹夫組合長



須合経一副組合長

JAさっぽろでは、札幌市民の皆さんにもっと札幌野菜を食べてもらうため、様々な取り組みを展開していきます。

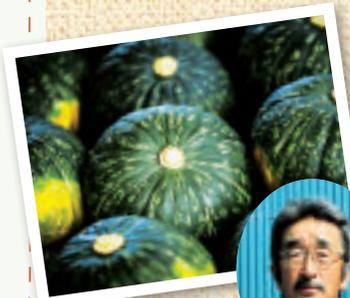
かぼちゃ

生産者の名島さんに
聞きました！

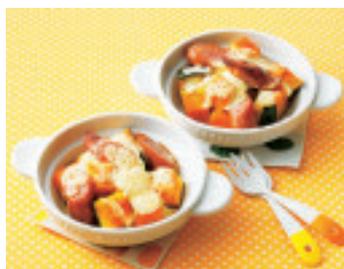
「大浜みやこ」
って？

大浜みやこは、生産者が共同で市場に出荷する「共選」を行なっており、生産者全員で何度も集まって畑や品質を確認し、さらに検査員が丹念に検査して合格したものをだけを出荷する仕組みを取り入れることでブランドを守っています。今年も7月中旬から収穫が始まりました。形の良し悪しや傷の有無、日焼けによっても出荷する規格が変わってくるので気を使いますが、今年の初セリでは8万円（秀品5玉）がつきほっとしています。

手稲山口は札幌市内の中でも特に暑い地域になり、砂地の畑だと日中は長靴を履いていても熱さを感じるほどですが、夜になるとずっと温度が下がります。この昼夜の寒暖差が大浜みやこの特徴でもあるホクホク食感と甘さを引き出すには大切です。素揚げや天ぷらなど、油で揚げるとより甘さを感じられて美味しくいただけますよ。



手稲地区組員
名島敏美さん



かぼちゃとソーセージのマヨグラタン

材料 (2人分)

- かぼちゃ…100g
- ソーセージ…2本 40g
- A
 - 塩…少々
 - こしょう…少々
 - キューピー マヨネーズ…大さじ2
 - 牛乳…大さじ1/2



レシピに
使った商品
キューピー
マヨネーズ

調理時間 10分
栄養成分 (1人分) エネルギー 215kcal
食塩相当量 0.8g / 野菜摂取量 50g

作り方

- ① かぼちゃはワタと種を取り、約2cmの角切りにし、耐熱皿に入れてラップをかけ、レンジ(600W)で1分30秒加熱する。
- ② Aを混ぜ合わせる。
- ③ ココット皿に①と斜め3等分に切ったソーセージを入れ、②をかけ、オーブントースターで約4分焼く。

調理のポイント

マヨネーズと牛乳を混ぜたソースが、かぼちゃの甘みとよく合います。オーブントースターの加熱時間は、様子をみて調節してください。



レーズンのヨーグルトかぼちゃサラダ

材料 (2人分)

- かぼちゃ…1/4個 360g
- レーズン…20g
- プレーンヨーグルト…60g
- キューピー マヨネーズ…大さじ2



レシピに
使った商品
キューピー
マヨネーズ

調理時間 10分
栄養成分 (1人分) エネルギー 315kcal
食塩相当量 0.3g / 野菜摂取量 180g

作り方

- ① かぼちゃはワタと種を取り、さっと洗う。乾いたクッキングペーパーで包み、さらにラップでふんわり包んで、レンジ(600W)で約6分30秒加熱し、熱いうちにフォークなどでつぶす。
- ② ①にレーズンとプレーンヨーグルトを入れ、マヨネーズで和える。

調理のポイント

お好みで、クラッカーやクッキーにつけてお召しあがりください。お子様も食べやすいサラダです。

紹介したレシピはこちらから
WEBサイトを閲覧することができます。





JAさっぽろ

親睦パークゴルフ大会

手稲地区が団体の部で2連覇達成！



2年連続団体優勝を果たした手稲地区の皆さん



7月12日(水)、第20回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会を札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コースで開催し、各地区から93名(男性61名、女性32名)の組合員の皆さんが参加しました。当日は、朝から曇天で天候も心配されましたが、大会終了まで雨にあたることなく熱戦が繰り広げられました。

前日の大雨でコースコンディションはあまり良くなかったものの、例年同様ハイレベルな戦いを繰り上げた結果、手稲地区が2年連続団体優勝を達成！個人戦男性の部では、手稲地区の池田広見さん、女性の部では、2年連続中山米子さんが優勝の栄冠に輝き、手稲地区は今年大会、全部門制覇を果たしました。また、ホールインワンも10名の方が達成しました。

今年も、感染対策のため表彰式の実施は見合わせましたが、入賞した地区と個人の方へは、後日、賞状やトロフィーが贈られました。

大会結果

* () 内の数字はスコアです。

■ 団体の部

- 優勝 手稲地区 (742)
- 準優勝 篠路地区 (751)
- 第3位 白石地区 (783)

■ 個人の部 (男性)

- 優勝 池田広見さん (手稲) (99)
- 準優勝 田中耕平さん (手稲) (102)
- 第3位 服部章二さん (篠路) (104)

■ 個人の部 (女性)

- 優勝 中山米子さん (手稲) (107)
- 準優勝 坂口秀美さん (北札幌) (108)
- 第3位 千葉芳子さん (手稲) (111)

■ ホールインワン賞

- 金山登さん (白石)
- 高橋澄子さん (白石)
- 土肥深さん (琴似)
- 村上勝弘さん (琴似)
- 赤坂洋子さん (中央)
- 得永等さん (厚別)
- 岩田君雄さん (北札幌)
- 西嶋勝子さん (北札幌)
- 堀尾繁雄さん (篠路)
- 堀実さん (新琴似)



南地区の今村哲平さんが STVどさんこワイド179で 札幌産小松菜をPR！

STV（札幌テレビ放送）「どさんこワイド179」の「どさんこ☆キッチン」（6月9日放送回）に、南地区組合員の今村哲平さん（青年部本部副部長）が出演しました。

「どさんこ☆キッチン」は、料理研究家・星澤幸子先生と星澤雅也さんによる人気のクッキングコーナー。6月5日からの週は、「北海道の旬を食べよう！」と題し道内産の食材を使ったレシピが紹介され、札幌産の食材として収穫最盛期の小松菜が取り上げられました。

今村さんは冒頭で、札幌産小松菜を紹介するVTRにご家族で出演。「旬の小松菜は、みずみずしくて、風味が強くシャキッとした食感が魅力です！」とPR。放送当日は今村さんが朝収穫した小松菜をスタジオにお届けしました。星澤雅也さんは「ピンとしてみずみずしい。」と話しながら「小松菜ギョウザ」を作っていました。



STV ホームページで
レシピの見逃し配信を
ご覧いただけます。



今村さんご家族の皆さんが出演し、小松菜の美味しさを伝えてくれました



あっという間に完成した「小松菜ギョウザ」
お弁当やもう一品ほしい時にぴったり

清田地区の大西智樹さんが STVラジオで “ぎよたベリー”を紹介

STVラジオ「どぎげんよう

じ」（6月17日放送回）に、清田地区組合員で青年部員の大西智樹さんが出演しました。大西さんが出演したのは「大田黒ヒロタカのごぎげん中継」のコーナー。清田区有明で生産するこだわりのいちごや自家農園産のフレッシュないちごを使ったパフェ・ソフトクリームを提供する自然満喫倶楽部が取り上げら

れました。

放送当日は、大田黒さんも同店看板商品のいちごパフェを堪能し、とれたてのいちごの美味しさに大興奮！大西さんは「今年から“ぎよたベリー”という品種のいちごを提供しています。程よい甘さと酸味がパフェや苺大福にもとても合うので多くの方に食べていただきたいです。」と話していました。



ラジオ放送終了後に自然満喫倶楽部の前で記念撮影する大西さん（左）と大田黒さん（右）



生中継でのラジオ放送に出演する大西さん（右）

厚別地区の小林紀彦さんが HTBアナウンサーに 畑仕事をレクチャー！

HTB（北海道テレビ）朝の情報番組「イチモニ！」の5月26日放送回に、厚別地区組合員の小林紀彦さんが出演しました。この春に始動した「イチモニ農園」酪農編では、(有)小林牧場の協力のもと田口彩夏アナウンサーが搾乳体験など様々な酪農作業に挑戦。2回目となるこの日は、牛の餌やりや小林牧場で自社生産するトウモロコシサイレージの種まきの模様を放送。

小林さん指導のもと、田口アナウンサーもトラクターに乗って100kg分の種をまき「牛の世話をしながら畑仕事もしている」ということを新しく知ることができました。「酪農業の奥深さを改めて実感。小林さんは「今後は小林牧場で搾乳した牛乳を加工する様子も見てもらって、より牛乳について理解してほしいです。」と話していました。

「イチモニ農園」は、今後も小林さんの協力のもと続いていきます。

小林さん出演の「イチモニ農園」
はこちらからYouTubeにて
閲覧することができます。



畑仕事をレクチャーする小林さん（左）と田口アナウンサー（右）



子牛の餌やりに挑戦する田口アナウンサー

女性部篠路支部

心もお腹も満たしてくれる 日帰り現地研修を実施

6月16日（金）、女性部篠路支部（嶋知子支部長）は部員12名、事務局2名が参加し日帰りバス研修を実施しました。恵庭の道の駅ではきれいに整備された花壇や色とりどりの花々を堪能。その後の昼食では、ホクレンくるるの杜にて道内各地の新鮮な野菜料理をバイキングで味わいました。研修のメインは今年春に開業となったエスコンフィールドHOKKAIDOのスタジアムツアー。きつねダンスで一躍有名となったファイターズガールの案内で、普段入ることが出来ないベンチ内や新庄監督の椅子に座ることもできました。球場見学後は「小林牧場おかしなソフトクリーム工房」でソフトクリームを堪能！大満足の研修となりました。

引き続き、今年も部員の皆さんと研修旅行ができ安堵の気持ちです。くるるの杜での昼食や小林牧場の農畜産物を満喫でき、美味しい・楽しいが詰まった研修になりました。」と話していました。

（真鍋特派員）

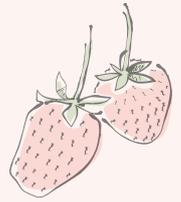


ベンチに座り部員そろって記念撮影！

嶋支部長は「昨年のウポポ

女性部南支部

いちご狩りと昼食会
親睦深まり、笑顔満開



6月21日(水) 女性部南支部(荒井三和支部長)では、部員24名が参加し、昨年に引き続きいちご狩り・昼食会を行いました。午前10時から、当地区組合員の櫻井農園さんでのいちご狩り。この日は、晴天にめぐまれすぎたこともあり体感温度40℃くらいでしたが、部員の皆さんは暑さに負けずに楽しく旬のいちごを収穫していました。

いちご狩りの後は、当地区組合員が経営する高島観光ファームさんでジンギスカンをいただき、そこでも皆さん会話が弾み、昼食会場は部員の皆さんの笑顔が広がっていました。荒井支部長は「部員の皆さんはじめ、櫻井さん、高島さんのおかげで、楽しく親睦を深めることができました。8月には2回目の梅漬けもあるので部員の皆さんと力を合わせて頑張ります。」と話していました。

(尾張特派員)



いちご狩りを楽しむ女性部南支部の皆さん

青色申告会手稲支部・資産管理部会手稲支部

4年ぶりの日帰り現地研修旅行！
開放感あふれる新球場に一同感動！！

7月3日(月)、青色申告会手稲支部(久木博光支部長)・資産管理部会手稲支部(高田信利支部長)では、総勢30名が参加し、合同の日帰り研修旅行を実施しました。研修先は、話題沸騰の新球場エスコンフィールド HOKKAIDO！この日は球場の屋根が開きグラウンドの天然芝には初夏の日差しが燦爛と降り注いでおり、開放感あふれる球場を見て部員の皆さんも終始感動していました。

また、ファイターズ

ガールによるスタジアムツアーもあり、4年ぶりとなった研修旅行は大いに盛り上がりました。

両支部長は「久しぶりの研修旅行で懐かしい顔、お初の顔を見る



30名揃ってエスコンフィールド HOKKAIDO のグラウンド内で記念撮影

ことができました。やはりこのように皆で集まってどこかへ行くという行事はこれからも続けていきたいですね。」と話していました。

(佐々木特派員)

贈与税及び相続税の税制改正 により令和6年1月1日から 制度が変わります。

贈与税には現在、毎年単年ごとに110万円まで税金が発生しない「暦年課税制度」と、合計2,500万円までの特別控除枠が相続時に相続財産に加算される「相続時精算課税制度」があります。

暦年課税制度は1年ごと、**基礎控除額**110万円まで**贈与税は発生しない。**

現行では、贈与者が亡くなって相続が発生した場合には、相続発生日から3年以内の贈与分については相続財産に加算されます。しかし、今回の改正により生前贈与加算が7年になるため、7年以内まで贈与された分が相続財産に加算されることになります。抛って令和6年1月1日以降に贈与された財産は、贈与者がその後7年経過した後に亡くなった場合、その間の贈与分は、相続財産に加算されません。

相続時精算課税制度は60歳以上の父母や祖父母から18歳以上の子や孫への贈与について、**累計で2,500万円まで贈与税が非課税。**

現行では、相続時精算課税制度を選択すると暦年課税制度の毎年110万円までの贈与税控除はなくなり、2,500万円を超えて贈与した分には一律20%課税されます。財産評価は贈与時点での時価で固定され、贈与後の評価額が変動しても相続時には反映しません。また、一旦相続時精算課税制度を選択申請すると暦年課税制度に戻れなくなります。今回の改正

暦年課税の加算対象期間について

贈与の時期	加算対象期間
令和5年12月31日まで	相続開始前3年間
令和6年1月1日から	
贈与者 の 相 続 開 始 日	令和6年1月1日～令和8年12月31日
	令和9年1月1日～令和12年12月31日
	令和13年1月1日～
	相続開始前3年間
	令和6年1月1日～相続開始日
	相続開始前7年間

内訳にすると……令和9年（相続発生）～4年（9年、8年、7年、6年）贈与分
令和10年（ ” ）～5年
令和11年（ ” ）～6年
令和12年（ ” ）～7年 以降7年となります。

により、令和6年1月1日以降は2,500万円を超えて贈与を受けた分に対しても毎年110万円まで基礎控除を受けることができます（暦年課税の110万円までの基礎控除とは別途措置）。また贈与を受けた土地や建物が災害により一定以上の被害を受けた場合、相続時に評価額の再計算が可能となります。

相談部では今後も組合員の皆さまのお役に立つ情報の発信を続けていきます。



今回の記事は、国税庁のホームページから制度の概要が記載されたパンフレット等を抜粋し紹介しています。制度の概要など詳細については、国税庁ホームページ等により改めてご確認くださいようお願いいたします。相談部では今後も組合員の皆さまのお役に立つ情報の発信を続けていきます。

～申し込みは終わりましたか～

重要なお知らせ 令和5年8月23日必着

「肥料価格高騰対策事業」(国費事業)の申請について

広報誌7月号誌面にて、ご案内しているところですが、肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和の為、国による『肥料価格高騰対策事業』が実施されております。農業者（農畜産物の販売実績があること）が、令和4年6月1日～令和5年5月31日の期間に購入した肥料費が対象で、化学肥料低減の取り組みを行なった上で、前年度から増加した肥料費について、その7割を支援する事業です。※国の計算式により算出。つきましては、当組合を窓口として申請される場合は、申請書類の受付を令和5年8月23日必着とさせていただきます。申請される場合、至急お問い合わせ願います。

(経済部営農課 TEL: 011-782-8130)



宮本二三男さん（新琴似地区）
平成20年7月 監事に就任、平成28年10月
代表監事に就任



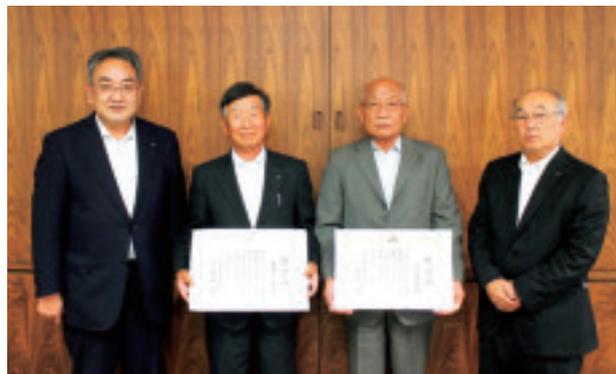
宮口博幸さん（白石地区）
平成17年7月 理事に就任

これまでのご尽力に感謝し
永年勤続役員感謝状を贈呈

長年にわたり当JAの役員を務められ、このほど任期満了に伴い退任された、宮本二三男さん（前 代表監事）、宮口博幸さん（前理事）へJA北海道中央会会長より感謝状が贈られ、軽部組合長からの長年のご尽力への感謝とねぎらいの言葉とともに、代読によりお二方に手渡されました。

この感謝状は、5期15年以上にわたり役員を務め、農協事業の推進・発展に寄与する功績を残された方に贈られます。

宮本さんは5期15年、宮口さんは6期18年、当JAの役員を務めていただきました。これまでのご功績に改めて感謝と敬意を表するとともに、今後のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



右から軽部組合長、宮口さん、宮本さん、須合副組合長

令和4年度

食と農でつながるサポーターづくり 優良事例表彰優秀賞に選奨！

当JAが「令和4年度 食と農でつながるサポーターづくり優良事例表彰」において、優秀賞として選奨され、JA北海道中央会札幌支所の平野茂貴支所長より軽部組合長に対して表彰盾が授与されました。

この表彰制度は、JA北海道大会決議事項である「食と農でつながるサポーターづくり活動」において、JAグループ北海道の価値向上と情報発信活動の充実を図る上で優良な事例となる活動を行なったJAについて表彰を行なうものです。

当JAが令和4年11月23日に開催した生産者・調理人など食に携わる



令和4年に開催した准組合員コンベンション



軽部組合長（左）と平野札幌支所長（右）

全ての方の想いを紡ぐことができる空間を目指すことをコンセプトとした「准組合員コンベンション」が評価されました。

当JAは、大都市であっても一生懸命に農業に取り組む生産者が身近にいることを准組合員や地域の皆さんに知ってもらうため、様々な活動に継続して取り組んでまいります。

尚、最優秀賞には、JA夕張市（空知管内）、優秀賞には当JAの他、JAようてい（後志管内）、JA北ひびき（上川管内）、JAひろお（十勝管内）が選奨されました。

「新型コロナウイルス感染症の影響」、「原油・農業資材等の価格高騰」により、 経営に影響を受けた農業者の皆さまへ

JAさっぽろ 農業経営緊急支援資金

【概要】

資金名	JA農業経営緊急支援資金【新型コロナ・資材価格高騰対策特例】
取扱期間	令和5年7月3日～令和6年3月29日のお借入れ
ご利用いただける方	当JAの正組合員で、次のいずれかに該当する方 ①新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に影響を受けた農業者 ②ウクライナ情勢等に伴う原油・農業資材等の価格高騰により、経営に影響を受けた農業者
資金使途	新型コロナウイルス感染症の影響、または原油・農業資材等の価格高騰により、経営に影響を受けた農業者を対象とした、経営安定に必要な長短運転資金
借入金額	必要額の範囲内で、1,000万円以内とします。
借入期間	(1) 短期運転資金：1年以内 (2) 長期運転資金：5年以内
借入利率	固定金利型 年1.0% JAグループの利子補給により実質無利子となります。
その他	○お申込みに際しては、当JAおよび当JAが指定する保証機関において所定の審査をさせていただきます。審査の結果によっては、ご希望に沿いかねる場合もございますので、あらかじめご了承ください。 ○印紙税が別途必要となります。 ○担保・保証等、その他お借入れ条件についてはお問い合わせください。

詳しくは、各支店または経済部営農渉外課までお問い合わせください。



8月27日の一日限定!

JA さっぽろ×札幌プリンスホテル コラボレーション企画

札幌プリンスホテルでは、8月31日（木）までランチブッフェ“グルメ紀行「夏の北海道」”を実施中ですが、8月27日（日）は、一日限定でJA さっぽろとのコラボレーション企画が開催されます！この日は、ホテルのシェフがひと工夫した北海道各地の名物料理が並ぶほか、**札幌近郊の農畜産物を使用した限定メニュー**を提供。詳しくはWebをご覧ください。

ブッフェレストランハブナ（1F） ランチブッフェ

- 営業時間 11:30 A.M.～2:30 P.M.
*ラストオーダーは料理 2:00 P.M. / お飲みもの・デザート 2:15 P.M.
- 料金（1名さま）
おとな ￥3,200 / ゴールドエイジ（65才以上） ￥2,850 /
小学生 ￥1,700 / 幼児（4才～未就学） ￥900 /
3才まで 無料

詳細は、こちらからご確認ください



理事会だより

第3回定例理事会

令和5年6月27日（火）午後1時00分より本店役員会議室において第3回定例理事会が開催された。

● 協議事項

- 1、令和4年度決算監事監査回答書（案）について
令和4年度定期（決算）監査で指摘された、課題ならびに改善を要する事項に対する回答内容が詳細に説明され、可決決定。
- 2、「令和4年度部門別損益計算書」の修正について
第2回定例理事会において承認いただいた総代会資料の内、P64の「令和4年度部門別損益計算書」において、購買事業の事業収益、事業費用と営農指導事業分配賦額等に誤りが判明したため、再度ご協議いただきたい旨、また総代会においては正誤表にて対応したい旨が説明され、可決決定。

● 報告事項

- 1、日本銀行の「地域金融強化のための特別当座預金制度」に係る要件充足確認結果通知の受領について

2、地区別懇談会での質問・意見等の報告

3、反社会的勢力の認定結果報告及び対処方針について

4、令和5年度第2四半期余裕金等運用計画額および運用方針について

5、不良債権経過報告

6、令和5年度経済店別苗物販売実績報告

7、5月末財務状況報告

8、5月末組合員加入・脱退状況及び未済持分譲渡報告

9、6月の動静と7月の予定について
（閉会・午後2時08分）

第1回臨時理事会

令和5年6月30日（金）午後4時40分より共済ビル8階会議室において第1回臨時理事会が開催された。

● 監事会報告事項

- 1、代表監事および常勤監事の決定について
- 2、令和5年7月から令和6年6月までの各監事の報酬額の決定について
- 3、退任監事に対する退職慰労金の支出の決定について

●協議事項

1、組合長、副組合長、専務、常務の決定について

第25回通常総代会において(新)理事者が決定されたことから、協議により、組合長に軽部幹夫氏(豊平地区)、副組合長に須合経一氏(厚別地区)を、専務理事には丸岡晃氏(学識経験者)、常務理事には水嶋仁光氏(学識経験者)が提案され、可決決定。

2、代表理事の決定について

代表理事は、組織代表である軽部幹夫氏と須合経一氏の2名とした旨が説明され、可決決定。

3、専務理事および常務理事の担当の決定について

専務理事の所轄部署は内部監査室、経営企画部、総務部、融資審査部、相談部とする。又、常務理事の所轄部署は金融部、共済部、本店営業部を担当する旨が提案され、協議後、専務理事の所轄部署に経済部を加える事で、可決決定。

4、組合長職務代理順位並びに理事会招集代理順位について

定款第35条第4〜6項の規定による組合長職務代理順位、及び定款第56条第2項の規定による理事会招集順位について提案され、可決決定。

5、令和5年7月から令和6年6月までの各理事の報酬額の決定について

総代会で決定した令和5年7月から翌年6月までの理事報酬総額並びに理事報酬総額にかかる個別理事報酬(案)が説明され、可決決定。

6、退任理事に対する退職慰労金の支出の決定について

退任理事1名に対する退職慰労金を第25回通常総代会の承認を受け、役員退職慰労金規程の基準に基づき、支給方法及び支給時期等について説明され、可決決定。

7、役員賠償責任保険の継続契約締結と保険料の一部負担について

役員賠償責任保険の概要、昨年度と同額で継続加入したい事、及び各役員が分担する代表訴訟特約保険料が説明され、可決決定。

8、北海道へ提出する行政庁用業務報告書について

農業協同組合法の定めにより、総代会終了後2週間以内に理事会の承認を得て行政庁へ報告する事が義務付けられている事、記載事項についても省令で定められており、内容については総代会資料に連結財務諸表等を加えたものであることなどが説明され、可決決定。

(閉会・午後5時29分)

JAさっぽろDATA

令和5年6月末業務実績

令和5年5月末業務実績

組合員数	正組合員	3,465名	3,462名
	准組合員	31,959名	31,863名
合計		35,424名	35,325名
出資金残高		65億8千万円	65億6千7百万円
販売取扱高		3億2千2百万円	1億7千4百万円
購買供給高		3億1千2百万円	2億2千5百万円
貯金残高		3,473億6千1百万円	3,455億円
融資残高		919億7千8百万円	909億5千6百万円
共済保有高		5,925億4千1百万円	5,940億7千1百万円
施設建設取扱高		9千8百万円	0円
管理受託戸数		4,601戸	4,602戸

サッポロさとらんどからのお知らせ

サッポロさとらんどでは、様々な講座を実施しています。

さとらんど

そば料理講座

(8月28日頃から受付開始)

天ぶらの美味しいあげ方のコツを教わり天ぶらそばを試食します。



日時：9月12日(火)

10時30分〜12時00分

会場：さとらんどセンター

定員：16名

参加費：1,500円

さとのキャンプフェア

(当日直接会場へ)

野菜を使ったキャンプ飯を中心にアウトドアギア等も紹介します。

日時：8月11日(金)、8月12日(土)、8月13日(日) 10時〜16時

会場：さとらんど交流館(会場へはさとらんど第6駐車場)

定員：なし

参加費：無料

【講座の申し込み・お問い合わせ】

サッポロさとらんど

〒007-10880

札幌市東区丘珠町584番地2

電話(011)787-10223

※各講座のお申込み、詳細のお問い合わせはさとらんどへ直接ご連絡ください。